

ユニオンファンド 月次レポート

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

第 98 号

2017 年 1 月 13 日作成

MONTHLY TOPIC

「どんな年になるか？」ではなく「こんな年にしていきたい！」

月次レポートのスタイルを変更しました。ファンドの運用状況や考え方をより深く理解していただける内容を盛り込んでいきたいと思っています。これからもよろしくお願い申し上げます。

今年も変動の大きな 1 年になるかもしれません

昨年は年初に中国景気の悪化が警戒されて波乱模様で始まりました。その後も、英国国民投票での EU（欧州連合）離脱決定、米国大統領選挙でのトランプ候補の勝利など、予想外の事態に市場は大きく揺れました。

2017 年はどうでしょう。欧州の主要国で重要な選挙が相次ぎますし、秋には中国で共産党大会が開催され、向こう 5 年間の人事が決まります。今年も政治面から目を離せない年になると思います。

一方、経済の面でも節目の年になるかもしれません。昨年末に米国の FRB（連邦準備制度理事会）は 1 年ぶりに政策金利を引き上げました。トランプ政権による景気押し上げ的政策も加わり、利上げピッチはこれまでの予想以上に速まると見られています。ECB（欧州中央銀行）も国債購入の減額を決めました。長らく続いた緩和一辺倒の金融政策は、すでに変わり始めています。金融緩和の中断や終了は、しばしば市場を混乱させます。

いつ何がどのように影響するか定かではありませんが、株価・為替ともにそれなりの変動が予想されます。ならば身を縮めてじっとしている方がいいのでしょうか。

予想よりも行動が肝心。株価変動は私たちの味方

そもそも株価はなぜこうも動くのか——。まずは変動の要因を三つ挙げてみましょう。

第 1 は、人口増加や生産性向上による経済水準の上昇で、これが株価を持続的に押し上げます。

（ホームページ「コラム」ご参照 http://www.unionam.co.jp/column/index.html#wc_anc00001）

第 2 は景気循環、つまりは景気の良し悪しですが、これは企業業績の拡大と縮小を通じて株価を揺さぶります。

第 3 は、そうしたもろもろのことを予想する投資家の心理と行動です。

財産づくりの真っ最中という投資家が短期の株価下落を恐れる必要はない—— 私たちはそう考えています。悪い景気・業績もいつかはよくなり、弱気心理もいずれ平常心に戻るものだからです。これまで何度も見てきたことです。そして世界経済が拡大する限り株価上昇はごく自然に続きますから、仮に株価が下がったとしても、そこは買い増しのチャンスにほかなりません。株価変動は、私たちの敵ではなくて味方なのです。

投資家の皆さまが相場の動きに振り回されることなく着実に財産づくりを進めていける——。そんな 1 年に是非していただけるよう、私たちも全力を挙げてまいります。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2016年12月31日現在)

基準価額

21,769 円

純資産総額

46 億 72 百万円

期間別騰落率(%)

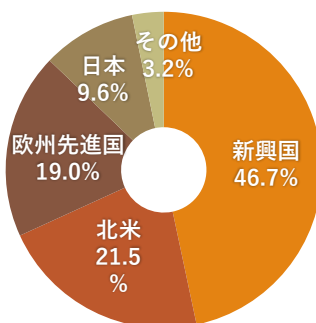
1 ヶ月	2.96%
6 ヶ月	18.59%
1 年	4.78%
3 年	12.82%
5 年	92.66%
設定来	117.69%

複利年率(%)

9.95%

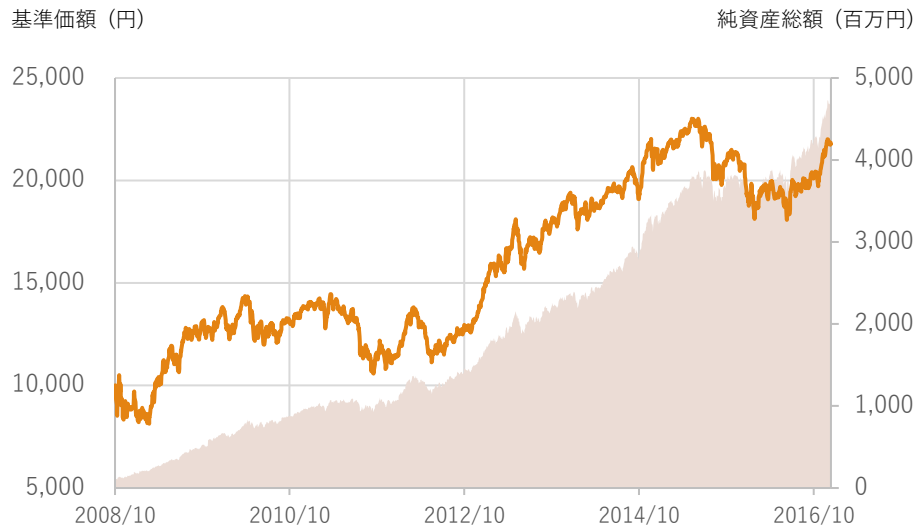
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2016年11月30日現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみファンド	日本	7.5%	3.3%
キャピタル F	欧米	13.8%	4.8%
ハリス F	欧米	21.6%	8.1%
コムジェスト F	新興国	37.1%	1.3%
現金等	-	20.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2016 年 12 月の市場動向と運用状況

12 月の投資環境と基準価額の推移

米国のトランプ次期政権の経済政策への期待が根強かったこと、日本・欧州を含めて世界経済が総じて堅調であることなどを好感し、株価は全般に底堅く推移しました。ただ、地域別には大きな差が出た月でもありました。

日本株は、為替市場でドル高円安が進んだことから、海外投資家の積極的な買いにけん引されて好調でした。また、欧州の通貨ユーロは、2002 年末以来、13 年ぶりの安値を付けましたが、このことは日本と同様、景気にとってプラスと受け止められました。欧州株の上昇は日本株を上回るものとなりました。

一方、新興国の多くでは、米国の金利上昇に引き寄せられて資金が流出しました。先進国とは逆に株価が下落する市場が少なからずあり、全体を平均しても株価はほぼ横ばいにとどまりました。

ドル高は特に月の半ばまで一本調子で進みました。これは、米国で 1 年ぶりに利上げが行われた上に、政策決定メンバーが今後の政策金利の見通しを市場の予想以上に引き上げたことが背景です。もともと米国経済は雇用が拡大するなど好調さを鮮明にしつつあります。加えて、トランプ次期政権は巨額の減税を行うなどの景気拡大策をとることが予想されています。こうしたことから、今後も好景気と賃金上昇が続き、物価も上昇傾向を強めると見られたことが、利上げ加速の予想につながりました。

円安は海外投資の比重が高いユニオンファンドにとってはプラスです。基準価額は一時 22,000 円に寄せ、月末は 21,769 円(前月末比+3.0%)でした。もっとも、ユニオンファンドが最大の投資先としている新興国の株価が冴えなかったため、上昇率は世界全体と比べやや見劣りするものでした。

運用の状況

先のこのレポートでも触れましたとおり、景気の現状やトランプ政権の経済政策を受けて株価の堅調は続くと思っており、ハリス F とコムジェスト F の買い増しを行いました。ただ、市場の見方がやや楽観に傾き過ぎていると思われることから、買い付けは少額にとどめました。12 月末の組入比率は 80.0%と、11 月より小幅な引き上げとしています。

今後の見通しと運用方針

このレポートの冒頭で触れましたとおり、今年は政治・経済ともに市場の変動要因が昨年同様、少なくなさそうです。足元はトランプ政権の経済運営のプラス面を評価する傾向が強く、マイナス面が軽視されているようにも思われます。また、今月の政権発足の前後には、トランプ氏が掲げている政策の実現性への自信が揺らぐ可能性もありそうです。このため、株価とドルの上昇がとりあえず一服する可能性にも十分目を向けていく考えです。

とはいえ、世界経済の緩やかな拡大は続いていますので、仮に株式市場や為替市場の悪化局面があれば、積極的に買い増しを行う方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



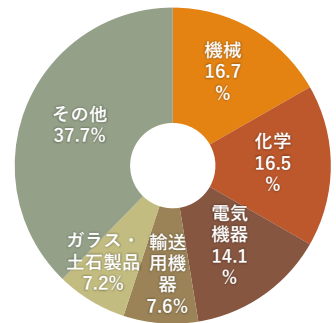
国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 プリチストン	4.3%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
2 日本電産	3.6%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
3 ダイキン工業	3.3%	日本	機械	エアコン世界首位
4 TOTO	3.2%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
5 花王	2.9%	日本	化学	トイレットペーパー首位
6 国際石油開発帝石	2.9%	日本	鉱業	石油メジャー
7 トヨタ自動車	2.8%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
8 信越化学工業	2.6%	日本	化学	塩ビ・シリコンエポキシ世界大手
9 浜松ホトニクス	2.3%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
10 三菱重工業	2.2%	日本	機械	世界的総合重機メーカー
上位 10 銘柄	30.2%		現金等	12.4%

業種別構成比



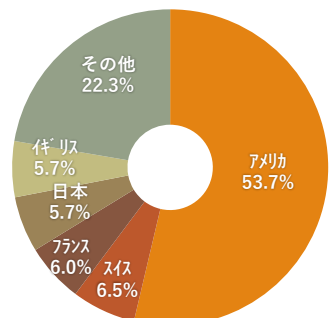
※ 業種：東証 33 業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2016 年 12 月末現在>

キャピタル F (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラス Z)

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



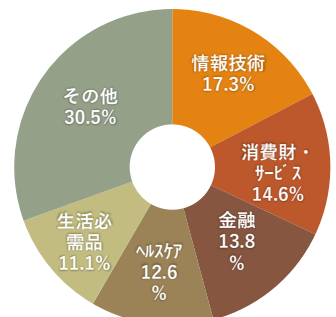
国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Microsoft	2.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
2 Alphabet	2.2%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
3 Incyte	2.1%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ
4 TSMC	2.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5 AIA	2.1%	香港	金融	生保・金融サービス
6 CME	2.0%	アメリカ	金融	先物等の国際的取引所
7 Visa	2.0%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
8 ASML	1.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
9 Schlumberger	1.7%	アメリカ	エネルギー	石油掘削大手
10 LafargeHolcim	1.6%	スイス	素材	セメント世界一
上位 10 銘柄	20.3%		現金等	3.6%

業種別構成比



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2016 年 11 月末現在>

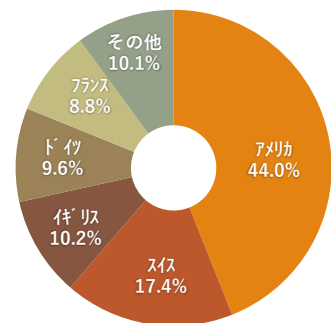
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ハリス F (ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007)

基準価額の推移 (分配金込み) の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



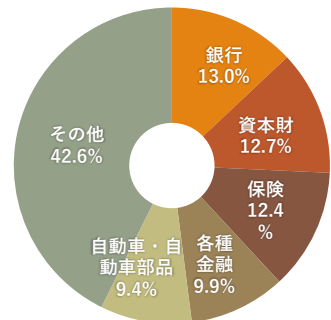
国別構成比 <2016 年 11 月末現在>



組入銘柄トップ 10 <2016 年 11 月末現在>

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CNH INDUSTRIAL	5.6%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー
2 GLENCORE	5.3%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
3 CREDIT SUISSE	5.2%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
4 ALLIANZ	4.7%	ドイツ	保険	総合保険大手
5 DAIMLER	4.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
6 BNP PARIBAS	4.7%	フランス	銀行	フランス大手銀行
7 GENERAL MOTORS	4.1%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ 3 の一角
8 JULIUS BAER	3.9%	スイス	各種金融	プライベートバンク
9 AIG	3.6%	アメリカ	保険	総合保険大手
10 JPMORGAN & CHASE	3.5%	アメリカ	銀行	世界的大手銀行
上位 10 銘柄	45.2%		現金等	2.9%

業種別構成比 <2016 年 12 月末現在>



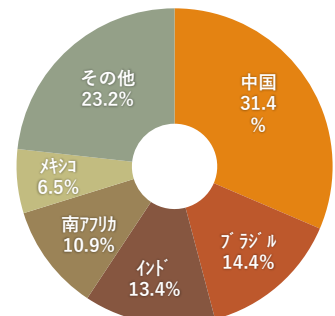
※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率、組入銘柄・構成比は、マザーファンドベース

コムジェスト F (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA)

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



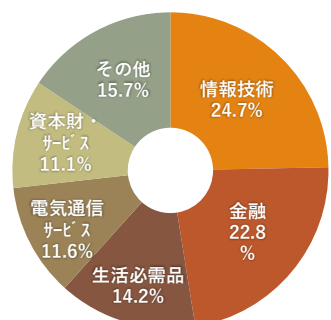
国別構成比 (マザーファンド)



組入銘柄トップ 10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR	6.0%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 CHINA LIFE	4.7%	中国	金融	生保
3 NETEASE ADR	4.4%	中国	情報技術	オンラインゲーム
4 POWER GRID OF INDIA	4.2%	インド	公益事業	電力関連 (送電網)
5 INFOSYS ADR	3.5%	インド	情報技術	IT ソフト総合サービス
6 MTN	3.3%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
7 CHINA MOBILE	3.3%	中国	電気通信サービス	携帯電話
8 SAMSUNG LIFE	3.1%	韓国	金融	生保
9 SANLAM	3.0%	南アフリカ	金融	保険大手
10 BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	2.8%	ブラジル	金融	保険大手
上位 10 銘柄	38.2%		現金等	4.4%

業種別構成比 (マザーファンド)



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2016 年 12 月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

取引残高報告書について

今回、「平成 28 年 10 月～12 月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※ 口座に残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1 年毎に「取引残高報告書」にてご報告いたします。

「お取引の明細と預り金の残高明細」の見方

記載対象期間内にお取引された明細および作成基準日現在のお預り金の残高です。

※ 最後に表示される「お預り金」につきましては、“作成基準日現在”でユニオンファンドの買付が完了していない場合にはその金額が、完了している場合には「0 円」が表示されます。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決 算 日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成基準日（平成 28 年 12 月 30 日）現在の基準価額です。
評価金額	作成基準日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000 で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成基準日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

弊社ホームページをリニューアルいたしました

ファンドマネージャーのコラムも新設いたしました。適宜更新いたしますので、是非ご一読ください。

（コラムのページ <http://www.unionam.co.jp/column/index.html>）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 金 信託財産留保金はありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。
[*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]
*『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。
目安であり、組入状況により変動します。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。